

1. 教務

(1) 日本語プレースメントテスト

日本語科目の学習段階は、技能別に、習熟度に応じて 9段階（初級前期、初級後期、初中級、中級前期、中級後期、中上級、上級前期、上級後期、超上級）に分けられます。どの学習段階に相当するかは、学期の初めに行う日本語プレースメントテストによって決めます。

日程など日本語プレースメントテストの詳細は、春学期は前年12月ごろ、秋学期は 6月ごろに学習支援システム DUET で案内しますので、確認してください。

(2) 科目登録

1) 科目登録の流れ

先行登録	主にクラス定員が設定されている科目を対象としています。履修希望者は一般登録より前に登録申請が必要です。登録申請者数がクラス定員を上回った場合抽選で登録者を決定します。登録確定後の変更及び履修中止期間以外の中止は認められません。
一般登録	先行登録以外の科目の登録を行ってください。
講義開始	
登録科目確認 およびエラー修正	DUETで登録エラーの有無や登録した科目が間違いなく登録されているかどうかを確認してください。エラーがある場合は国際教養教育院事務室へ所定期間内に修正を申し出てください。
履修科目確認	エラー修正を申し出た人は、エラーが修正されているかどうか確認してください。
登録確定	
履修中止	1ヶ月程度授業を受講し、望ましい評価が得られないと判断した科目の履修中止を行うことができます。（科目によっては履修中止できない科目もあります。）
履修科目確認 (履修中止者のみ)	履修中止を行った場合は、登録の履修が中止されているか確認してください。

2) 登録上の注意点

科目の受講には、指定の期日に科目登録を行うことが必要です。

- 登録に間違いや不備があった場合、その科目の登録は認められません。履修を希望する科目をよく確認の上、間違いのないよう科目登録を行ってください。
- 科目登録をしていない科目の単位は認定されません。
- 一部の科目については、通常の科目登録とは別に「先行登録」が必要ですので注意してください。
- 登録した科目以外、受講できません。単位の修得も認められません。
- すでに単位を修得した科目は、異なるクラスであっても再度登録することはできません。F評価（不合格）の人のみ再履修ができます。
- 心身の障がい等により、講義の一部（演習、実験、実習、語学など）への参加が困難な場合は、「合理的配慮」として代替措置をとることが可能なことがあります。登録前に、国際教養教育院事務室に相談してください。

① 登録制限単位数

日本文学の登録制限単位数は派遣元大学により以下のように異なります。

種別	学生ID (●●は入学年度)	単位数
交換留学生	2990 ●● 1001- 2990 ●● 1501-	各学期で登録できる単位数は、15単位までです。
大学間協定受入留学生 (有償)	2990 ●● 1301- 2990 ●● 1801-	各学期で登録できる単位は15単位までです。 1学期に15単位を超えて登録する場合は1単位につき20,000円の研修料を支払わなければなりません。
学部間協定受入留学生 ※1	2990 ●● 2001- 2990 ●● 2501-	なければなりません。
その他受入生	2990 ●● 3201- 2990 ●● 3401-	
予備教育生	2990 ●● 3001-	各学期で登録できる単位数は、15単位までです。
日本語・日本文化研修 留学生(日研生)	2990 ●● 3101-	

注意：学部・研究科の科目を登録した場合は、その単位も上限単位に含まれますので、注意してください。

週に最低7コマ以上（1コマ=90分）の授業を受けることが、法律*で定められています。

*出入国管理及び難民認定法第7条第一項第二号の基準を定める省令

- ※1 ケンブリッジ大学東アジア研究科、銘傳大学教育暨應用語文學院応用日語学系、東吳大学外国語文學院日本語学系、大連外国語大学日本語学院、湖南大学外国語・国際教育学院、浙江工商大学東方語言・哲学学院、東華大学外国語学院、東北大学秦皇島分校語言学院、青島農業大学外国語学院、上海外国語大学日本文化經濟學院、ヘブライ大学人文学部東アジア学科、同徳女子大学、ソウル神学大学、誠信女子大学

② 終了要件

予備教育生：所定の予備教育期間在学し、日本語科目10単位以上および日本語・英語演習科目、日本語事情科目、国際事情科目より3単位以上、合計13単位以上の単位修得が必要。

日本語・日本文化研修留学生（日研生）：所定の研修期間在学し、合計20単位以上を習得すること。

③ 科目分類ごとの注意点

日本語科目	日本語学習を主目的とする学生を対象にした「集中コース」、日本語学習を主目的としない学生を対象にした「選択コース」があります。
-------	--

- ・「集中コース」の場合、「日本語1（総合）」「日本語2（総合）」は、「総合1～10」または「総合1～5」（学習段階によって異なる）をセットで登録すること。
- ・「選択コース」の場合、各学期に指定された日本語科目2～3科目の登録が望ましい。
- ・「集中コース」「日本語1（口頭表現BVI～IX）」「日本語2（口頭表現BVI～IX）」は初回講義後にクラスを決定する。
- ・ただし、学部間協定受入留学生で、派遣元大学において大学院に在学中の学生のうち、日本語プレースメントテストにおいて学習段階Ⅷ以下（Ⅷを含む）にプレースされた学生は、各学習段階の「日本語1（総合）」または「日本語2（総合）」を必ず登録すること。原則として「選択コース」の登録は認めない。

日本語・英語演習科目	日本語および英語の能力をより一層向上させたい人のための科目です。
------------	----------------------------------

■「日本語総合演習A/B/C/D/E」・「中級日本語文法概説A/B」・「上級日本語文法概説A/B」

登録できる科目は、学習段階により異なる。

科目名	授業内容/コース	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX
日本語総合演習A	日本語初級コース	○	○	×不可	×不可	×不可	×不可	×不可	×不可	×不可
日本語総合演習B	日本語能力試験N3コース	×不可	※	○	○	○	×不可	×不可	×不可	×不可
日本語総合演習C	日本語能力試験N2コース	×不可	×不可	※	○	○	○	×不可	×不可	×不可
日本語総合演習D	日本語能力試験N1コース	×不可	×不可	×不可	※	○	○	○	○	○
日本語総合演習E	日本留学試験コース	×不可	×不可	×不可	※	○	○	○	○	○
中級日本語文法概説A/B	中級レベルの日本語文法	×不可	×不可	※	○	○	○	×不可	×不可	×不可
上級日本語文法概説A/B	上級レベルの日本語文法	×不可	×不可	×不可	×不可	※	○	○	○	○

表の※マークは、どうしても登録したい場合に限り、登録することが可能な科目である。登録前に担当教員へ必ず相談して許可をもらうこと。

「日本語総合演習E」は、日本の大学・大学院への進学を目指すための日本留学試験対策の科目である。

にほんご とつこうえんしゅう
■「日本語特講演習」

- ・ クラスが異なれば、何度でも登録できる。
- ・ 「日本語特講演習」の一部のクラスは、学部間協定受入留学生で、派遣元大学において大学院に在学中の学生のみ登録できる。
 学習段階Ⅶ以上の交換留学生で、派遣元大学において、学部ならびに大学院に在学中の学生、あるいは学習段階Ⅶ以上の学部間協定受入留学生で、派遣元大学において学部在学中の学生が、当該クラスの登録を希望する場合は、教務主任へ相談すること。
- ・ 学部間協定受入留学生で、派遣元大学において大学院に在学中の学生は、当該学生のみ登録できる「日本語特講演習」を最低2つ登録すること。また、これらの科目の履修中止は認めない。

えいご そうごうえんしゅう
■「英語総合演習」

この授業は、日本語と英語で行われる。内容を理解するためには、学習段階Ⅲ以上の日本語能力が必要。

科目名	授業内容
えいごそうごうえんしゅう 英語総合演習B	日本の高校レベルの文法及び語彙の習得を主目的としたコース。授業においては、文法を中心とした問題演習と解説が行われます。授業で扱われる英語のレベルについてはシラバスを参照してください。
えいごそうごうえんしゅう 英語総合演習C	TOEIC®L&R テスト、TOEIC®L&R IP テスト、TOEFL ITP®テスト、TOEFL iBT®テスト等のテスト対策を主目的とした科目です。授業で扱われる英語のレベルについてはシラバスを参照してください。

※TOEFL、TOEFL iBT、TOEFL ITP 及び TOEIC はエデュケーショナル・テストング・サービス (ETS) の登録商標です。
 ※「L&R」は「LISTENING AND READING」の短縮形です。

にほんじじょうかもく 日本事情科目	にほん れきし しゃかい ぶんがく だんどうぶんか げいじゆつ まな 日本の歴史・社会・文学・伝統文化・芸術などを学びます。
こくさいじじょうかもく 国際事情科目	せかい れきし ぶんか げんごがく まな 世界の歴史・文化・ビジネス・メディア・言語学などを学びます。

- ・登録できる科目は、学習段階により異なるため、開講科目一覧表をよく確認すること。
- ・「●以上」・「●以上(▲可)」の表記も確認すること。これは登録が可能な学習段階を表す。
 例えば、「●以上」の場合は、学習段階●より下の学生は登録することができないが、「●以上(▲可)」の場合は、希望により学習段階●のひとつ下(学習段階▲)の学生も登録が可能。

にほん ぶんか とつこう
■「日本の文化特講A」

学習段階Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの学生は、原則として必修科目であるため、自動的に登録される。

④ 学部・研究科科目の履修について

派遣元大学の単位認定に必要で且つ日本語プレースメントテストで日本語能力が十分であると判断された場合、登録制限単位数の範囲内で学部・研究科科目の登録が許可されます。

登録が許可される学習段階と科目は、以下のとおりです。対象者には DUET で資料を配付しますので、登録を希望する場合は、必ず学部・研究科科目登録の資料を確認してください。

- ・学習段階Ⅴ： 保健体育科目、外国語科目（原則として、1年間以上学習経験がある言語）のみ、登録ができます。
- ・学習段階Ⅵ以上： 自分で科目選択・登録ができますが、シラバスを熟読して、全ての科目において受講前後の予習・復習がかなり必要である事を理解した上で、登録をしてください。なお、他学部履修不可科目については、登録できません。

⑤ グローバル教育センター（CGE）科目の履修について

登録制限単位数の範囲内で、グローバル教育センター（CGE）が提供する科目を登録することができます。CGE科目は、日本の文化、社会、自然など幅広い分野を取り上げ、授業はすべて英語で行われます。日本人学生と外国人留学生が共に学習します。CGE科目は先行登録です。先行登録期間中に DUET で登録申請してください。

(3) 教育充実費

各学期に教育充実費2,500円（テキスト代等）を徴収しています。

ただし、2021年度は新型コロナウイルスの影響を考慮した特別措置として、日本語・日本文化教育センター生からは教育充実費を徴収しないため、支払いは不要です。